

新型コロナ「ワクチン」について

あなたはどれだけ知っていますか？

コロナワクチン=mRNA型「ワクチン」とは今までのワクチンとは全く異なる、全人類に初めて使用された「遺伝子製剤」のことです。現在、このmRNA技術を応用した「ワクチン」が次々と開発されています。

mRNA「ワクチン」の臨床開発状況 * 出典①



mRNA-LNP(脂質ナノ粒子)の危険性

① 強い炎症反応が起こる

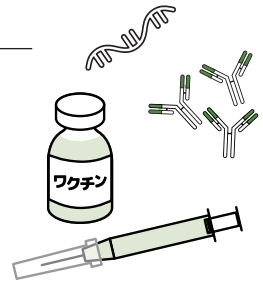
mRNAを包む脂質ナノ粒子(LNP)は、**血流に乗って全身に運ばれます。** LNP自体が炎症を誘導し(免疫賦活作用)、**細胞が壊されてしまう可能性が指摘されています。**

② スパイクタンパク質が強い毒性を持つ

スパイクタンパク質自体の毒性が強く、**全身に血栓ができやすくなります(血栓症、血栓塞栓症、脳梗塞、心筋梗塞など)。** またスパイクタンパク質を発現した細胞が**自分の免疫細胞に攻撃される**ことがあります(自己免疫疾患)。

③ 免疫の働きが乱され、免疫機能が低下する

mRNA型「ワクチン」を打てば打つほど、**免疫を抑制する働きを持つ抗体であるIgG4が誘導され、その結果、免疫が低下し、感染症、がん、IgG4関連疾患などあらゆる病気を発症しやすくなる可能性があることがわかっています。**

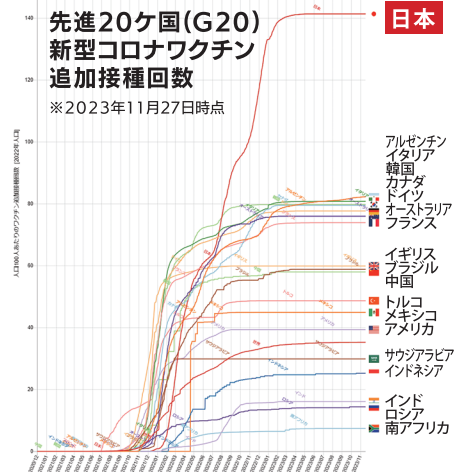


出典: 札幌医科大学医学部附属がん研究所ゲノム医科学部門

mRNA型「ワクチン」追加接種 先進国では日本が断トツ!

mRNA型コロナ「ワクチン」による**頻繁なワクチン接種が人体の免疫に悪影響を及ぼす**ことがヨーロッパを中心に指摘され、気付いた国々は接種を控えましたが、日本はいまだに7回を超える接種を続けています。

繰り返し接種しても新型コロナウイルス感染症の感染予防・発症予防・重症化予防の**3つの効果が得られないばかりか、逆にコロナ感染症以外の病気が増加**しています。



【テレビ北海道】で放映
mRNA型「ワクチン」の決定的な問題点を指摘!



国内のコロナワクチンと疾患の
関連報告リスト(医学学会報告)



STOP! 新型コロナワクチン
記者会見【代表メッセージ】



新型コロナ「ワクチン」接種事業の即時中止を強く求めます

新型コロナウイルス感染症に対する対策の見直しと国民の安全と健康を守るため、mRNA型「ワクチン」**接種事業の中止を求めて立ち上がった医師および医療従事者の団体**です。
また、海外の医師達とも連携をとり、**ワクチン後遺症患者の治療にあたりながら被害者救済を目指します。**

全国有志医師
の会HP

 **全国有志医師の会**
Volunteer Medical Association

ニュースレター
登録はこちら▶



詳細は公式サイトへ

<https://vmed.jp/>

全国有志医師の会

検索

